

京都厚生園「第一次 5箇年事業計画」を策定しました。

～多年度計画は初めての取組み～

【策定にあたって】

高齢者総合福祉施設 京都厚生園

は、1980年(昭和55年)6月に開

設し、2015年(平成27年)6月に

35周年を迎えました。11年前の平成

16年に園として初めての拠点施

設となる「地域福祉施設 成逸セン

ターサー」を上京区に開設。その後、平成

21年4月に西京区に「地域福祉施

設 京都厚生園 松尾の家」を、平成26

年4月には同じく西京区に「地域福

祉施設 山田の家」を開設し、本体施

設と合わせ4拠点で福祉・介護サー

ビスを展開するようになりました。

これまで福祉・介護制度の変遷に

対応しながら、ご利用者・ご家族お

一人おひとりの個別ニーズ並びに地

域課題に合わせた取組みを行つてき

ました。事業展開もこうした考え方のもと

に実施し、ここ10数年で、1拠点9事

業(職員数・122名(平成15年4月)

そのための地域づくりがありまし

た。事業展開もこうした考え方のもと

に実施し、ここ10数年で、1拠点9事

業(職員数・122名(平成15年4月)

そのための地域づくりがありまし

京都厚生園山田の家 1年振り返って

ひな祭り
ご利用者数名が協力し合いながら、作ってくださった雛人形はどれもやさしい表情をしています。

山田保育園の園児と一緒にさつまいも掘り
大収穫に子ども達も大喜び！焼き芋や芋飯にしていただき、皆様からも大好評でした！

野菜の収穫
立派な大根です！この後、皆で大根炊きをし、おいしくいただきました。

お正月飾り
生け花が得意なご利用者が素敵なお飾りを作ってくださいました！

忘年会
皆で乾杯！山田の家が開所して、初めての忘年会です。出張寿司を依頼し、お寿司をいただきました！

松尾中学校作品展に作品を出展しました。

山田の家は古民家を改修した小さなデイサービスです。お気軽に立ち寄りください。

京都厚生園山田の家の理念

「思い」「暮らし」「絆」を支援します

- ・住み慣れた家、地域の中で暮らしくという思い
- ・今まで通りの暮らし、その人にとってあたりまえの暮らし
- ・家族や隣人との絆、「今まで」と「これから」の絆

やさしい地域づくり ～待たれる「認知症初期集中支援チーム」の設置～

園長 源野 勝敏

んな町にして
いかが大切
であるとい
うことを学びま
した。

京都厚生園
も西京区認知

今年の1月に厚生労働省が関係府省庁と共同で「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」が策定されました。65歳以上高齢者の約4人に1人が認知症の人又はその予備軍とも言われており、いわゆる団塊の世代が75歳以上となる2025(平成35)年を目途に、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会の実現を目指しています。プランは、基本的な考え方や具体的な施策が示されていますが、その中で設置が待たれるのが「認知症初期集中支援チーム」(以下支援チーム)です。

支援チームは、専門医の指導の下、複数の専門職が認知症が疑われる人又は認知症の人やその家族を訪問し、観察・評価を行った上で家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、かかりつけ医と連携しながら認知症に対する適切な治療や介護に繋げ、自立生活のサポートを行うことになっています。

先駆的にこの事業に取り組んでこられた「やましろ認知症地域ケア連携協議会」の支援チームの活動報告会に参加し、敦賀温泉病院理事長の玉井先生の初期集中支援を中心とした町づくりの講演を聞きました。チームの活動とともに認知症の周知も進み、疑われる状況になつた方は自ら受診をする市民が増え、アウトリーチ(出向く)の必要性が軽減してきた地域もあるということや山城地域ではかかりつけ医との連携強化になってきていくなどの報告がありました。チームを作ることが目的ではなく、ど

工夫をして既に主体的に取り組んでいることもあります。地域の独自性や主体性を十分に尊重していただきたいこと、専門機関が増えることによって他の機関の機動力も高まるような仕組みづくりであってほしいです。

認知症の人にやさしい地域づくりを進めていきましょう。



地域福祉施設 成逸センター



大運動会
重箱弁当



10月は成逸大運動会が行われました。昼食は運動会ならではの重箱弁当が振る舞われ、大きな重箱にぎっしりと詰まった色とりどりの食材がご利用者の目を楽しませてくれました。

成逸センターではご利用者の皆様に季節感を味わっていただこうと、季節ごとに多くの行事を実施しています。レクリエーションによるゲームや歌、手芸等の創作活動はもちろん、食事やおやつも楽しんでいただけるよう、様々な趣向を凝らしています。今回はその一部をご紹介します。



鯛の解体
ショー

3月に開催された鯛の解体ショーでは、立派な鯛の登場に歓声が沸き起ります。あっと言う間に三枚におろされた切り身は、職人の手によって次々と握り寿司へと姿を変えていきます。程よく脂の乗った鯛と、間近で見る豪快な包丁さばきに終始圧倒されました。



チョコ
フォンデュ

バレンタインデーにあわせて、フロアではチョコの甘い香りが漂っていました。チョコフォンデュを初めて目にされるご利用者も多く、チョコが流れていくのを興味深く眺めながら、「見てるだけでも面白いけど、花より団子やな」「甘くて温かくておいしいわ」と会話を弾んでいました。



成逸居宅介護支援事業所
京都市成逸地域包括支援センター



地域の身近な相談窓口☆
私たちにご相談ください。

京都市成逸老人デイサービスセンター

〈通所介護〉

成逸居宅介護支援事業所

〈居宅介護支援事業〉

京都市成逸地域包括支援センター

〈包括的支援事業・介護予防支援事業〉

(高齢サポート・成逸)

地域福祉施設 京都厚生園松尾の家

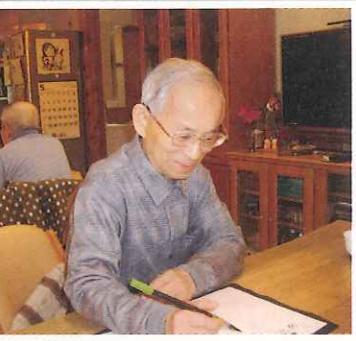
笑顔溢れる松尾の家の日常



事業所を飛び出し太陽の下ではさらに明るい笑顔がこぼれます。



松尾の家では個別支援を大事にしています。ご利用者の思いや状態に応じて、趣味活動の支援や生活の中でのリハビリとして食器洗いや洗濯たたみを手伝っていただいたり、体操に取り組んでいます。



松尾の家ではご利用者の誕生日を皆でお祝いしています。

昨年は、お祝いの日と敬老祝賀会が重なり、サプライズでボランティア様より、ギターの生演奏のプレゼント♪最高の誕生日会となりました。



お天気が良く、「外で食べたいな…」というご利用者の声から、急遽外で昼食を食べることになりました。

普段と違う青空の下での食事は食欲が増し、会話も盛り上がっていました(^O^)



在京都厚生園居宅介護支援事業所
京都市西京・北部地域包括支援センター

在宅生活を応援します。
気軽にご相談ください。

京都厚生園松尾の家

〈小規模多機能型居宅介護事業〉

京都厚生園居宅介護支援事業所

〈居宅介護支援事業〉

京都市西京・北部地域包括支援センター

〈包括的支援事業・介護予防支援事業〉

(高齢サポート・西京北部)

住み慣れた地域の季節の移り変わりを感じてもらうため、西芳寺川への散歩や、地域の皆さんとの交流の機会として小学校やお寺である音楽会の行事等に積極的に参加しています。時には個別に企画を立て、ドライブに行くことも。

平成26年度 決算報告

■貸借対照表

資産の部	
流动資産	343,029,598
固定資産	569,660,982
〔 基本財産 〔 その他の固定資産〕〕	〔 376,151,190 193,509,792〕
資産の部合計	912,690,580

負債の部	
流動負債	48,224,783
固定負債	259,154,161
負債の部合計	307,378,944
純資産の部	
基本金	263,386,507
国庫補助金等特別積立金	81,144,050
その他の積立金	11,000,000
次期繰越活動経営収支差額	249,781,079
(内当期活動収支差額)	-16,767,769
純資産の部合計	605,311,636
負債及び純資産の部合計	912,690,580

事業活動收支計算書

(自)平成26年4月 1日
(至)平成27年3月31日

科 目		金 額	
サービス活動増減の部	収 益	介護保険収入	820,096,000
		障害福祉サービス等事業収益	6,620,205
		経常経費寄付金収益	429,000
	サービス活動収益計(1)		827,145,205
	費用	人件費支出	618,799,828
		事務費支出	88,261,861
		事業費支出	98,345,326
		減価償却費	41,822,822
		利用者負担軽減額	1,392,652
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-7,963,521
	サービス活動費用計(2)		840,658,968
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-13,513,763
サービス活動外増減の部	収 益	受取利息配当金収入	36,977
		その他のサービス活動外収益	2,477,119
		サービス活動外収益計(4)	2,514,096
	費用	支払利息	2,594,313
		その他のサービス活動外費用	2,476,758
		サービス活動外費用計(5)	5,071,071
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-2,556,975

皆様のご厚志に感謝します。 (順不同・敬称略)		
寄 付 金		
● 金田忍	● 野瀬一江	● 加藤賢次
● 佐藤富美子	● 濱田洋史	● 深尾八重子
● 岡野てるみ	● 石塚千鶴代	
● 成逸住民福祉協議会		
● 京都聖母学院中学校・高等学校		● 中路彰
● 松陽学区民生児童委員協議会		
寄 贈 品		
● 船井総一	● 野瀬一江	● 齋藤寿彦
● 西村邦恵	● 林枝里香	● 大住町子
● 一般財団法人タキイ財団	● 株式会社朱常分店	

*期間：平成26年7月から平成27年6月まで

ボランティア

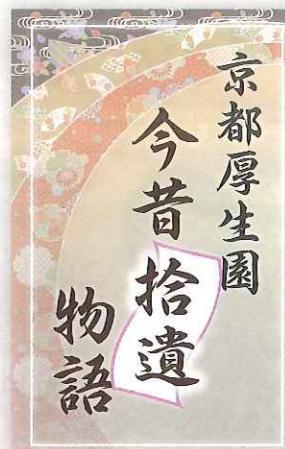
順不同·敬称略

(表1)	S55年	H7年	H17年	H27年
常勤	16名	47名	93名	130名
非常勤	7名	8名	44名	36名
計	23名	55名	137名	166名

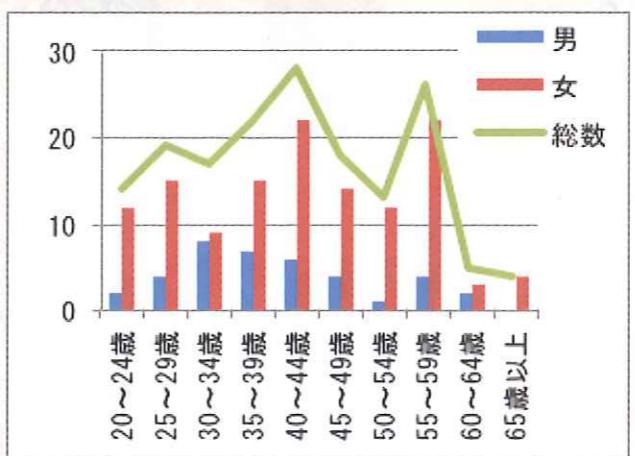
事業を行うために必要不可欠な要素として、昔から「人」「物」「金」と言われています。今回はその中でも特に重要な要素である「人」すなわち職員に関する話を書いていきたいと思います。				
■職員数				
(表1)	S55年	H7年	H17年	H27年
常勤	16名	47名	93名	130名
非常勤	7名	8名	44名	36名
計	23名	55名	137名	166名

そもそも京都厚生園の職員って何人いるかご存知でしょうか？職員の中でも案外知らない者がいるかもしれません。正解は表1のとおり166名です（4月現在）。昭和55年の開園当時は23名しかいませんでしたが、事業は定員50名の特別養護老人ホームのみでした。その後、事業の増加や成逸センター等の拠点の開設とともに徐々に増え、開園35周年を迎えた今年は、開園当時の7倍以上になりました。

事業を行うために必要不可欠要素として、昔から「人」「物」「金」と言われています。今回はその中



また、古い職員名簿を見ると、今では使わなくなつた職種名が出てきます。「寮母」・「寮父」という職種名です。(それぞれ女性・男性の介護職員のことです。)「寮母」と聞くと、寮の管理人さん?などと思われるかもしれません、昭和38年に制定された老人福祉法で、特別養護老人ホームにおける高齢者の世話をの担当手として、従来の養老施設で高齢者の世話をしていた「寮母」に従事させるとしたことから、介護保険制度が始まることでその職種名が残つてきました。当初は看護婦(現在の看護師)に従事させましたが考



(表2)	男
平均年齢	39.9
平均勤続年数	9.3

上のグラフは職員の年齢別入数を表したものです。40代前半がピークになっているのは日本全体の傾向のようですが、全ての年代を通じて女性の人数が圧倒的に多いのは福祉業界の特徴と言えます。表2は平均年齢と平均勤続年数です。数年前、日本の主な上場企業の平均年齢が40歳を超えたようですが、京都厚生園はそれよりも若干年長であるようです。

まる

より「寮母」に従事されることになり、またそのことから資格のない寮母の業務を看護とは言えないのですが、「介護」としたというのが通説のようですね。「介護」という言葉自体はもっと古くからあったようですが、現在私たちが使っている意味での「介護」という言葉の原点はそこにあります。

年齢・勤続年数

上のグラフは職員の年齢別人数を表したもので、40代前半がピークになっているのは日本全体の傾向のようですが、全ての年代を通じて女性の人数が圧倒的に多いのは福祉業界の特徴と言えます。表2は平均年齢と平均勤続年数です。数年前、日本の主な上場企業の平均年齢が40歳を超えたようですが、京都厚生園はそれよりも若干年長であるようです。

県（同数）となっています。

庫県、滋賀県、福岡県、愛知県と愛媛

(表3)	現住所	出身地
京都市内	135	57
(内)西京区	81	21
京都府下	29	30
他府県	2	77

※本誌の写真については個人の了解を得て、掲載しています。